

## 【 設問アプローチ 】

[ 18 - A ]

問1 : ① [設問チェック] 漢字問題。傍線部と同じ漢字を答える。

② [アプローチ] 「漢字問題へのアプローチ」に従って、本文読解中に傍線部前後の文脈から傍線部に適切な漢字を考える。そして、傍線部の近くにメモしておく。

③ [設問読解] 本文読解後、設問を解く際に②のメモを確認しながら、適当な選択肢を選ぶ。

問2 : ① [設問チェック] 傍線部について、「難しい」ことの理由を求められている。

② [本文読解] ①より、傍線部について「因果関係」を示した内容を把握する。  
傍線部を含む一文に、「そのために」という因果関係を示す文構造があるので、指示内容を確認する。

1段落の最後に、「鳥や動物たちの行動が、人間の生活と衝突する場合」があることが説明されており、その文脈で傍線部を含む2段落の内容があることも把握しておく。

③ [判断基準] ②から、傍線部の理由は、「人間の知らない部分の方が多いため」であると分かる。そして、そのために動物たちの行動に対して「受忍」したり、「歯止め」をかけたりする際の明確な基準を設けることが難しいのだ、という内容を把握し、そのことを説明した選択肢を吟味する。

問3 : ① [設問チェック] 「森に生きる人々」の訴えについて、その内容説明が求められている。

② [本文読解] ①に関して、36・37行目に「私がこれまで…次のようだ」という文章があるので、該当する内容は、38行目以降にあることが〈予測〉される。

③ [本文読解] ②を踏まえて、当該部分の要点を確認する。

(1) 45行目に、「森に生きる人々」には「生活への不安」があり、筆者はそれを「できるだけ取り除かなければならない」と論じている。

(2) 52～54行目の段落から、この部分で論じられた「森に生きる人々」の訴えについて、筆者は「正しい意見」とであると評価し、社会全体で方策を考え、行動すべきだと主張している。

④ [設問読解] ③で確認した内容を説明している選択肢を、解答として選ぶ。

問4 : ① [設問チェック] 傍線部について、理由の内容説明が求められている。

② [本文読解] 傍線部の内容について、具体的な説明をしているのが傍線部直前の47～49行目の段落になる。

③ [判断基準] ②の内容を直接的な〈根拠〉とするとともに、問3でも確認したあたりの傍線部前後

の文脈から傍線部に関する内容の要点を確認する。すると、「生活への不安」，「理不尽さへの憎悪」，「森に住む人々の意見は正しい」といった内容が読み取れる。

→ 以上のポイントを押さえた選択肢を，解答として選ぶ。

問5 : ①〔設問チェック〕傍線部についての具体的な内容説明が求められている。

②〔本文読解〕傍線部中にある「森の外の思考」については，55行目～63行目までのあたりで論じられている。本文読解中に，この範囲を《根拠》の可能性として〈予測〉し，チェックしておく。

③〔判断基準〕②から，《根拠》の要点を確認する。

鍵カッコで強調されている「森は無料」，「社会的要請」，「信条体系」が内容を端的にまとめたキーワードになっている。このキーワードを中心に内容を把握する。

→ 以上のポイントを押さえて内容を適切に説明した選択肢を，解答として選ぶ。

問6 : ①〔設問チェック + アプローチ〕文章全体の内容に関する問題のため，予め選択肢文のキーワードをチェックしておく。

また，本文読解中に「筆者の主張」に注目し，チェックを入れながら内容把握を行うようにする。

②〔判断基準〕選択肢文のチェックと本文中の「筆者の主張」のチェックとを照らし合わせて，選択肢の正誤判断をする。